

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

| | |
|------|--------------|
| 事業所名 | 松陰プラザ |
| 住所 | 函館市松陰町1-35 |
| 電話番号 | 0138-30-2323 |

| | |
|-------|-----------|
| 事業所番号 | 111401642 |
| 管理者名 | 喜久川 三希子 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

| (I) 労働時間 | | 30 点 |
|--------------------------|---|---------|
| ①1日の平均労働時間が7時間以上 | | |
| ②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満 | | |
| ③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 | | |
| ④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満 | | |
| ⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満 | | |
| ⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 | ○ | |
| ⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 | | |
| ⑧1日の平均労働時間が2時間未満 | | |

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

| (II) 生産活動 | | 40 点 |
|--|---|---------|
| ①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | ○ | |
| ②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上 | | |
| ③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上 | | |
| ④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上でない | | |

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

| (III) 多様な働き方（※） | | 35 点 |
|--------------------------|---|---------|
| ◎ ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ②利用者を職員として登用する制度 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | | |
| ◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ④フレックスタイム制に係る労働条件 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | | |
| ◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | | |
| ◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | | |
| 小計（注1） | 9 | |

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

| (IV) 支援力向上（※） | | 35 点 |
|--|----|---------|
| ◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 | | |
| 参加した職員が1人以上半数未満であった | | |
| 参加した職員が半数以上であった | ○ | |
| ◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表 | | |
| 1回の場合 | | |
| 2回以上の場合 | ○ | |
| ◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ | | |
| いずれか一方のみの取組を行っている | | |
| いずれの取組も行っている | ○ | |
| ④販路拡大の商談会等への参加 | | |
| 1回の場合 | | |
| 2回以上の場合 | ○ | |
| ◎ ⑤職員の人事評価制度 | | |
| 人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している | ○ | |
| ⑥ピアサポーターの配置 | | |
| ピアサポーターを職員として配置している | | |
| ⑦第三者評価 | | |
| 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。 | | |
| ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 | | |
| 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている | | |
| 小計（注2） | 10 | |

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

| (V) 地域連携活動 | | 10 点 |
|--|---|---------|
| 地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している | ○ | |

1事例以上ある場合：10点

| 項目 | 点数 | | | | | | | | |
|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 労働時間 | 5点 | 20点 | 30点 | 40点 | 45点 | 55点 | 70点 | 80点 | 30 |
| 生産活動 | 5点 | 20点 | 25点 | 40点 | | | | | 40 |
| 多様な働き方 | 0点 | 15点 | 25点 | 35点 | | | | | 35 |
| 支援力向上 | 0点 | 15点 | 25点 | 35点 | | | | | 35 |
| 地域連携活動 | 0点 | | 10点 | | | | | | 10 |

| | | | |
|----|-----|---|--------|
| 合計 | 150 | 点 | / 200点 |
|----|-----|---|--------|

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV)

(I) 労働時間

前年度 (2年度)

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--------|----|-------------------|--------|---|----------------|-----|----|
| 雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 | 41,766 | 時間 | 雇用契約を締結していた延べ利用者数 | 11,609 | 人 | 利用者の1日の平均労働時間数 | 3.5 | 時間 |
|-----------------------------|--------|----|-------------------|--------|---|----------------|-----|----|

(II) 生産活動

会計期間 (4月~3月)

前々年度 (平成30年度)

| | | | | | | | | |
|-----------------|-----------|---|--------------|-----------|---|----|--------|---|
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 1,750,667 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 1,666,819 | 円 | 収支 | 83,848 | 円 |
|-----------------|-----------|---|--------------|-----------|---|----|--------|---|

前年度 (令和元年度)

| | | | | | | | | |
|-----------------|------------|---|--------------|------------|---|----|-----------|---|
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 20,463,972 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 18,336,998 | 円 | 収支 | 2,126,974 | 円 |
|-----------------|------------|---|--------------|------------|---|----|-----------|---|

(III) 多様な働き方

前年度 (4年度) における実績 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載)

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数 5名

※ 取得を進めた免許等:

介護職員初任者研修

制度の活用内容:

一般就労で就職するために役立つと思われた

② 利用者を職員として登用する制度

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 0名

◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※ 登用した日 年 月 日

勤務形態:

就業時間: 時 分 ~ 時 分

職務内容:

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 11名

※ 実施した期間: 4月1日~3月31日

就業時間 (在宅勤務) 10時00分~14時00分

職務内容:

手芸、工芸、シール貼り、着装

パソコン学習

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 4名

※ 実施した期間: 4月1日~3月31日

就業時間 (コアタイム): 8時00分~16時00分

職務内容:

調理補助、シール貼り作業

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 2名

※ 実施した期間: 4月1日~3月31日

就業時間 (短時間): 13時00分~15時00分

職務内容:

厨房清掃

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 0名

※ 実施した期間: 月 日 ~ 月 日

就業時間 (早出の場合): 時 分 ~ 時 分

就業時間 (遅出の場合): 時 分 ~ 時 分

職務内容:

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 0名

◎ 計画的付与制度を活用した人数 21名

※ 取得した制度 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間: 10月1日~3月31日

取得日数・時間 5日 20時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 0名

※ 取得した内容:

取得した期間: 月 日 ~ 月 日

就業時間: 時 分 ~ 時 分

職務内容:

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度 (4年度) における実績 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している

◎ 研修実施回数 外部 7回/内部 4回

対象職員数 17人

うち研修受講者数 15人

※ 研修名 障害者虐待防止・権利擁護研修

研修講師 厚生労働省他

実施日・受講者数 1月25日 ~ 15人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 4回

※ 研修、学会等名 八雲町障がい者就労支援機関

実施日 6月30日

※ 学会誌等名

掲載日 月 日 月 日

発表テーマ 実践紹介

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している

◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている

※ 先進的事業者名 札幌市社会自立センター

実施日/参加者数 1月31日 1人

※ 他の事業所名 知内町民健康推進委員会

実施日/参加者数 7月5日 10人

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 2回

※ 商談会等名 農福マルシェ

主催者名 北海道

日時 8月20日

内容 農福連携で作られた農産物の販売

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している

◎ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 4年4月1日

人事評価制度の対象職員数 15名

うち昇給・昇格を行った者 15名

当該人事評価制度の周知方法 面談

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している

◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※ 配置期間 月 日 ~ 月 日

就業時間

職務内容

⑦ 第三者評価

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※ 評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※ 認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(※) 実績のうち1事例を記載



各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | |
|------|--------------|
| 事業所名 | 松陰プラザ |
| 住 所 | 函館市松陰町1-35 |
| 電話番号 | 0138-30-2323 |

| | |
|-------|-----------|
| 事業所番号 | 111401642 |
| 管理者名 | 喜久川 三希子 |
| 対象年度 | 令和4年度 |

地域連携活動の概要

| | |
|---|---|
| <p><活動内容></p> <p>活動場所：道南食品株式会社 工場内 実施日程：令和4年11月4日～現在に至る 実施した生産活動：工場内にてチョコレートの箱詰め作業・箱折り作業等の工場内業務 利用者数：8名</p> | <p><活動の様子></p> <p>～工場内での作業風景～</p>  <p>ベルトコンベアの前に皆で並び、チョコレートをトレーに詰めています。</p>  <p>チョコレートが詰まったトレーを検品し、箱詰め作業をしています。</p> <p>最初はゆっくり作業をしていましたが、皆、徐々にスピードが着いてきて来ました。</p> |
| <p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：一般就労に近い環境内での職業訓練。作業を通して、他者と連携を取り仕事をする中で、一般就労へのイメージを持ち、一般就労への向かう自信となる。また、企業様にも障がいのある方を雇用するイメージを持ってもらう。参加人数8名</p> | |
| <p><成果></p> <p>実施した結果：企業様内での職業訓練により、実際に一般就労へ向かう自信へと繋がり、一般就労の就職へ繋がった利用者さんがいる。他の利用者さんも一般就労への意識が高まっている。</p> | |

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

多様性を重視し、先入観で障害特性（適性能力）を判断せず「ワンチーム」として「個包装手詰め作業」をメインに作業頂いた。コツを掴むまでは時間を要したが、日々「生産性向上」が見られ、納期に遅れることなく生産対応頂いた。「挨拶」がしっかり教育されており、一般従業員からも「会社の雰囲気明るくなった」などの声が寄せられ、要員不足の状況下を解消し、生産に寄与いただいた功績は非常に大きい。指導員が事業所と連携し、大きなトラブルはなかった。

今後の連携強化に向けた課題

通年雇用を検討しているが、閑散期において要員・時間調整をお願いしており、会社として常に働く機会を与えられるよう部署間での連携を強化し、業務の捻出を会社テーマとしている。今後、どの業界においても「人手不足」は懸念事項となるので、利用者さんの雇用維持を保ちつつ、一般就労（障害者雇用）に繋がりたい。D & I 推進の観点からも有益である。

| | | | |
|--------|----------------|------|------|
| 連携先企業名 | 道南食品株式会社 品質保証課 | 担当者名 | 加藤 弘 |
|--------|----------------|------|------|